

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

第4回チーム医療合同演習

“Oncologic emergency”

～がんの救急－多職種チームとして何が出来るか～

対象： 中四がんプロ大学院生[メディカルスタッフ全員]

趣旨：

多職種のがんプロ大学院生が一同に会して、oncologic emergency（がんの救急）に焦点をあて、より良いがん医療を提供するために、各職種で貢献できることや職種間で共有できることなどを実際のケースに則して討論する実践型の実習をおこないます。この実習を通してチーム医療の重要性を学びます。

日時・場所：

平成24年8月24日（金） アークホテル岡山
〒700-0907 岡山市北区下石井 2-6-1
TEL：086-233-2200

21：00～21：30 開催の挨拶，資料配布，スタッフ紹介

平成24年8月25日（土） ピュアリティまきび
〒700-0907 岡山市北区下石井 2-6-41
TEL：086-232-0511

8：30～12：35 ワークショップ1
神経系の oncologic emergency、ADL のマネージメントを含めて
ワークショップ2
消化器系の oncologic emergency、栄養のマネージメントを含めて

12：35～12：45 閉会の挨拶

看護学研究科：第4回チーム医療合同演習に参加してきました 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

平成24年8月25日に岡山県ピュアリティまきびで第4回チーム医療合同演習が開催されました。

第4回のテーマは、“Oncologic emergency” ～がんの救急－多職種チームとして何が出来るか～でした。

チーム医療合同演習は、中国・四国の多大学多職種のがんプロ大学院生が一同に会して、oncologic emergency（がんの救急）に焦点をあて、より良いがん医療を提供するために、各職種で貢献できることや職種間で共有できることなどを実際のケースに則して討論する実践型の実習です。がんプロ大学院生は、この実習を通してチーム医療の重要性を学びます。

ワークショップ1では、「神経系の oncologic emergency、ADL のマネジメントを含めて」、ワークショップ2では、「消化器系の oncologic emergency、栄養のマネジメントを含めて」各グループで討議を行い、初期治療と今後のマネジメントについて発表を行いました。

今回参加されたがんプロ大学院生は45名で、医師・看護師・薬剤師・医学物理士・管理栄養士の多職種で、高知県立大学からは2回生の野口久美子さんと田上知江美さんが参加し、看護師としての意見を発表してチーム医療の一員としての自覚を深めました。



【M2 野口さんと田上さん】

(参加した学生の声)

チーム医療の中で実践している看護を言語化し他職種に伝えることや、治療方針などに関して根拠を持って意見を述べることなど、これから強化していかなければならない能力について振り返る機会をいただきました。

昨年に引き続き、2年続けて参加できたことによって、獲得したい力をはっきり考えることができました。



【ワークショップの様子】



【代表の谷本先生から修了証書授与（グループ代表で）】